

鬼子母尊神大祭の意味と厄年

仏教の中で様々な救いを説かれた法華経において、色々な神仏が我らを守って下さると教えられています。中でも「**鬼子母神様**」というのは法華経を信じるものを守るといふことで、日蓮宗ではよく鬼子母神様を大切にします。うちのお寺も、鬼子母神様を拝みたい、という要望があつて興りました。その中で天皇家ゆかりの方も参拝した為に、「**天拝鬼子母尊神**」として鬼子母尊神様をお祀りしています。その為、毎年6月に過去一年の感謝と次の一年の無事を祈つて「鬼子母尊神**大祭**」をしております。東京にいた頃や私が住職になってからも毎月一度、「鬼子母尊神**祭**」ということで参加の檀信徒さんと御祈禱を行っています。

祈願内容は別紙『御祈禱・御札の説明』に挙げておりますのでご参考にしてください。ただ、「**除厄開運**」ですが、これはお寺や個人によって考え方が違うので私の「**厄**」に対する考えを説明したいと思います。「**厄**」とは、私が勉強した限りでは「複雑に絡み合っていて**因果関係ははっきりしない**が、**災い**が起りやすくなる**悪条件**」だと思っています。例えば一番有名なのが特定の年齢になると災いが起こる「**厄年**」。時期・方位などで良くないといわれる所に行くといわれる「**方災**」、これは主に「**方災**」を避けるための「**方位除け**」の方が有名でしょうか。これらは昔からの経験則や統計に基づくものです。星占いや日付の六曜、手相など、占いの何割かは過去の経験・統計というものを基に作られたものです。それらは因果関係のはっきりしない「**厄**」というものを見つけ出す為に色々な見方、考え方があり、どれも正解です。ただ、全てを信じると身動きが取れないので、そのうちのつか二つ、自分が当たると感じたものを信じればよいと思います。

その中でも大勢の人が信じ、ある程度当たると考えられているのが「**厄年**」です。これはやはり人々の体の仕組みや社会とのかかわり方など総合的な経験則として「**良くない年**」とされてきたもので健康・社会・金運など色々なものに悪影響がでることが考えられます。また、近年は現代の病気リスクに合わせた「**新厄年**」も登場しています。健康という面だけですが、確かに一つの厄年です。その為、「**除厄開運**」は自分が良くない年や時期かなと思った時にお申込み下さい。

なお当寺院では「**方位除け**」も行いますが、これは明確に吉凶の方向を出して御祈禱する「**奇門遁甲**」という方法がございます。ただ、個別に状況を聞き取って判断するしかない為、**今回の御祈禱には含まれておりません**。もしも引っ越しやリフォーム等の際、気になる方は御相談下さい。

※厄年に関しては別紙にまとめましたのでそちらをご覧ください。